



空っぽの家に

命を吹き込む

空き家は生かせば資源
まちに新しい息吹が芽生えます

昨年12月にオープンしたばかりですが、口コミで人気が広がり、市内外から多くの人が訪れています。「この場所が人と人となつてほしい」と笑顔で語る永塚さん。時代を超えて愛されてきた空間で、心癒やされるひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

カフェ×空き家

永塚さん



日 那さんの両親が亡くなられた後、数年間空き家となっていた実家。当初は借り手を探していた永塚さんですが、お菓子の製造販売をしていた経験を生かし、2階部分をカフェとして改装しました。そのほか、さまざまな用途に使用できるレンタルルームに加え、1階は書道教室やヨガ、ワークショップを開催するスペースとして貸し出しを行っています。

女性限定カフェ 古今

住所 磯部1615
時間 完全予約制
定休日 不定休



そば屋×空き家

田宮さん



定 年後の第二の人生として、そば屋を開きたいと考えていた田宮さん。知り合いから10年以上空き家になっていたという物件を紹介され、付き合いの長い仲間たちと自分たちの手で改修を始めました。最初に見た時は、内壁や床がボロボロの状態に衝撃を受けたそうですが、約1年かけて少しずつ手を加え、店舗としてよみがえらせました。空き家も元々は思い出の詰まった大切な家。だからこそ次の世代につないでいかなければならないと田宮さんは話します。そんな人柄にも引かれ、店内はいつもたくさんのお客さんでにぎわっています。「大好きなこのまちが少しでも元氣になれば嬉しい」と語る田宮さん。その手には、地元に戻りたいという強い思いと共に、受け継いだバトンがしっかりと握られています。

ふるさと駒

住所 駒ヶ崎186
時間 11時30分~15時
定休日 月~木曜日



2階 | カフェ



2階 | レンタルルーム



今回取材した2軒の元空き家。そこにあふれていたのは、たくさんの笑顔とぬくもりでした。

市内にはまだまだ放置されて寂しうにしている空き家が数多く残っています。皆さんの手で、もう一度明かりをとしてみませんか。